

平成25年度第2回豊明市障害者福祉計画等策定・推進委員会会議録

平成26年 1月28日(火)

午後2時00分から

市役所東館1階 会議室6

1. 委員長あいさつ

辰野委員長よりあいさつ

2. 議事

(1) ”第2次豊明市障害者福祉計画中間見直し案”……………資料1

資料1に基づき、事務局説明

★印の付してある項目について見直した。

訂正箇所については、以下のとおり。

- ・ P6図表2、 障がい数の変化→障がい者数の変化
- ・ P7図表3中、身体障害者手帳所持者備考欄 平成23年度→29年度
- ・ P11表中、対象者欄、(障がい種類重複あり)
→(障がい種類の重複は、障害の重いほうで計上)
- ・ 同、表中対象者欄の右枠(年齢別…の表記欄)は削除する。
- ・ P23、主な施策・事業の表中、ボランティア養成→要請
- ・ P24上、実行委員会は中心となり→実行委員会が中心となり
- ・ 同欄、知識を普及を→知識の普及を
- ・ P25上、親亡き後に→親亡き後も
- ・ P32(1)雇用①、企業の情報提供→企業への情報提供

質問、意見等については、以下のとおり。

Q1. アンケートについて、障がいごとの回収率は？

A. 障がいごとの回収率は集計しておらず、全体としての回収率のみ。

Q2. 団体・事業所アンケートで、新たに増えた団体・事業所は？

A. 豊明家族会、スマイルクラブ、NPO法人くるみの会、
訪問介護ステーション幸せ、ニチイケアセンター豊明、
株式会社ALEILEの6件。

NPO法人地域とともに生きるめだかの会は、計画策定当初は
団体でしたが、今回は事業所として回答をいただいた。

Q3. P31にあるスクールカウンセラーについて、現状はどうか？

また、スクールカウンセラーはどんな資格者か？

今後の計画として、全校配置は計画しているか？

A. H24実績は3中学校、2小学校、市内1カ所(フレンドひまわり)が

あり、また資格については、臨床心理士。

今後の配置計画については、指導室に確認する。

Q4. P25(1)居住③“グループホーム・ケアホームの設立支援”での表現が抽象的なので、具体的な表現があったほうがよいのではないか？例えば、「地域の理解をすすめるために住民説明会を実施します。」はどうか？

A. 「地域の理解をすすめるための取組として、住民説明会等を行なっていきます。」との表記とする。

Q5. P31の(4)で、放課後等児童デイサービスと障害児相談支援を入れるとよいのではないか？

A. ③として、加える。

文言については、児童福祉課にて検討する。

→資料1中、P31③として“放課後等児童デイサービス事業”を追加

Q6. それぞれの主な施策・事業について、毎年の評価はされているか？

A. 毎年度末に、各課より課題も含めて報告を受けている。

(2)今後のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

資料2に基づき説明。

6. その他

第3回委員会日程

平成26年 3月28日(金) 午後2時から 東館3階 政策審議室

※出席委員 辰野勝五、岩名昭文、近藤 二、佐々木信富、三浦美智子、
(敬称略) 大谷真弘、早川 要、森井曜子、三好順子、中山広一、松森正起、
外山弘子、兼子忠男、岩田圭司、外村 恵

事務局 健康福祉部長原田、社会福祉課長松村、児童福祉課長佐藤、
課長補佐兼障がい社会係長犬塚、社会福祉課障がい社会係高垣